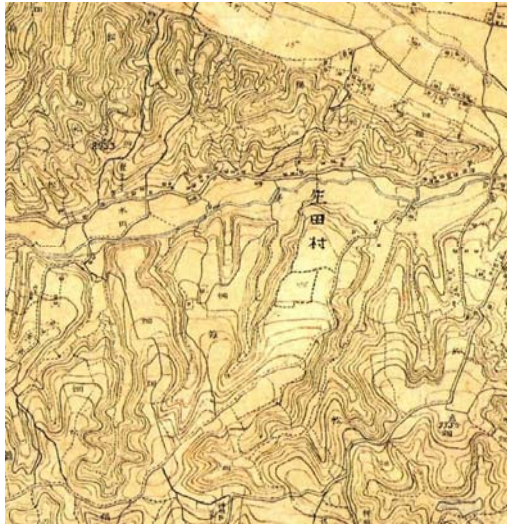


緑地における価値観の相互作用



14. 3. 25自然会議／明治大学農学部／倉本 宣

今日のお話

- 緑地の機能は多面的です。
 - 協働の行われる緑地においてはさまざまな価値観が交錯します。
 - ここで、多様な価値観の相互作用にこそ将来の社会を作るパワーがあると考えています。
 - 環境教育は価値観の相互作用による場所があります。
- 相互作用の起こし方をどうしたらよいかも考えます。

1

自己紹介

- 植物生態学から、生態工学(造園学)へ
- 都立赤塚公園のニリンソウ保全がおもしろかった
- 大学院博士課程(理学系)を中退→試験を受けて都庁の造園職に
- 日曜の生態学者として13年間活動
- 明治大学では、農学科の造園分野の一員(1996～)

2

私の立場、造園家

- 建築(ネガティブな自然を排除)と造園(ポジティブな自然を取り戻す)
- 家と庭
- 市街地と公園
- 都市と自然公園
- 先進国と途上国
- 人と自然との空間的關係学

3

公園をめぐる評価

- 公園通り
渋谷公園通り、長居公園通り、駒沢公園通り
商店街の活性化
- 公園の陳腐化
公園みたいになってしまった

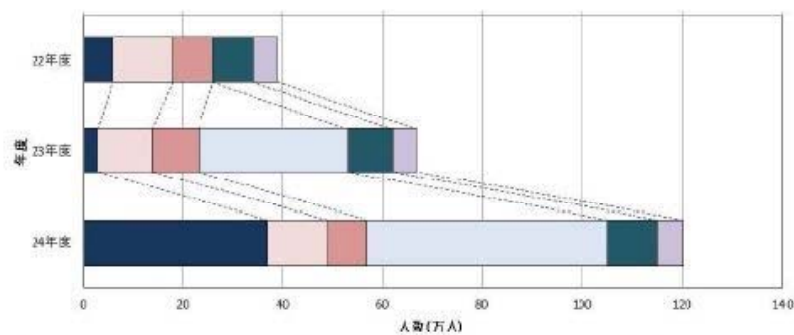


利用者数

- 多いほど良い
- 多いと自然が壊れてしまう
- 「満足度×利用者数」を最大に

5

1 年間来場者数



	22年度 (万人)	23年度 (万人)	24年度 (万人)	備考
かわさき宙と緑の科学館	0	3	37	H22年度は改築中、H23年度は9月まで
日本民家園	12	11	12	
岡本太郎美術館	8	9	8	
藤子・F・不二雄ミュージアム	-	30	48	H23年度は9月以降
ばら苑	8	9	10	
ゴルフ場	5	5	5	
合計	39	67	120	

6

バリアフリー

- 車いすやベビーカーの乗り入れ
- すべての場所
- できるだけ多くの場所
- 自然を壊さない場所
- 特定の場所

7

工事観

- 近代的工事観
- 伝統的工事観

例1 雨水

近代的工事観 集めて、流す

伝統的工事観 散らす

例2 斜面

近代的工事観 固める

伝統的工事観 植物で覆う



自然観

- 人工的自然 都市・公園
人間の力が優占
- 二次的自然 里山・丘陵地公園・自然公園
人間の力と自然の力のバランス
- 原生的自然 奥山・国立公園
自然の力が優占

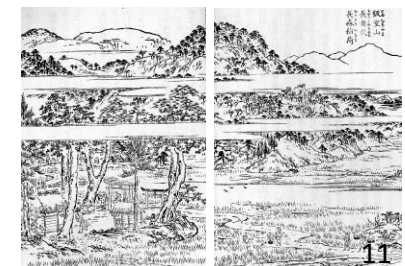


生物多様性観

- 大規模公園は生物多様性の重要なコア
- エコロジカルネットワークの拠点
- 公園には歴史がある
- 公園には公園に係る人々の暮らしがある
- 生田緑地では？

公園にかかる歴史観

- 公園には歴史がある
- 生田緑地は江戸時代の名所
- 戦前の防空緑地
- 地主さんの活動



公園に係る人生観

- 公園には思い出がある
- 思い出 生きもの、遊び、スポーツ、学び
- ボランティアなどの活動の場
- 自然から必要とされる喜び
- グループから必要とされる喜び



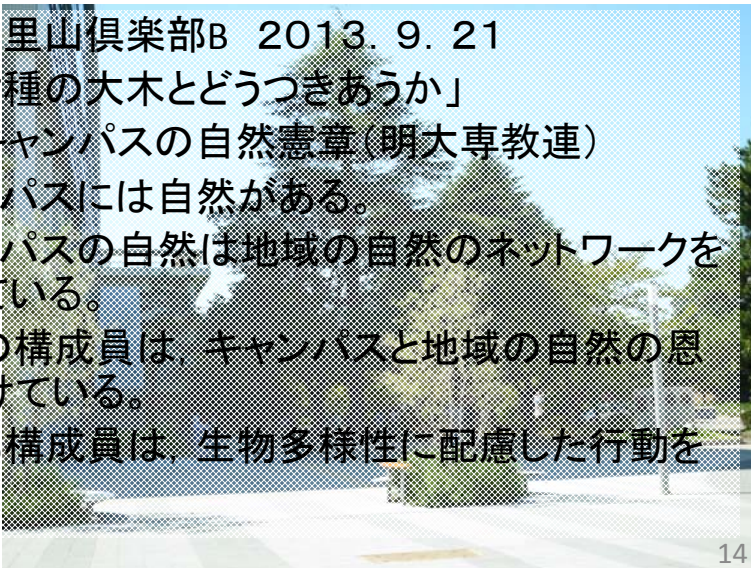
科学観(順応的管理)

- やって、みて、考える
- 工事も作業も、大規模な実験
- 目的を明らかにする
- 方法を記録する
- 結果を共有する
- 自由な立場から議論する



現場の共有から価値観の相互作用へ

- 事例 里山倶楽部B 2013. 9. 21
「外来樹種の大木とどうつきあうか」
参考、キャンパスの自然憲章(明大専教連)
- 1.キャンパスには自然がある。
- 2.キャンパスの自然は地域の自然のネットワークを構成している。
- 3.大学の構成員は、キャンパスと地域の自然の恩恵を受けている。
- 4.私たち構成員は、生物多様性に配慮した行動をとろう。



外来樹種の大木を肯定する立場

- 長い時間、そこに生きてきた
- 同じ生きものとして尊敬の念
- なじみがある
- 長い間生きているが繁殖しているわけではない

生田緑地憲章

- 持ち込まない
- 持ち出さない
- 先見性
- 例外 管理行為

16

生態工学

- 人と自然との関係学
- 生態系と人工系の調整
- 公園についても科学が必要
- 考えていることや感じていることを共有する
- ちがいを知った上で、いっしょに活動する方法を考える

17

コーディネーター

- 価値観のちがう主体をつなげる
- 単純につなげるだけでなく、いっしょになにかやっていくなかで価値観の相互作用を引き出す
- 公園での活動が環境教育として意味を持つ

18

提案

- 「やって、みて、考える」の「みて」の共有化
- 2014年度に1回だけやってみませんか。



19